



EMBAJADA
DE ESPAÑA

OFICINA ECONÓMICA Y
COMERCIAL DE ESPAÑA

TOKIO

2020年 スペイン出版業界レポート

スペイン書籍出版連盟

2022年1月



要 旨

2020 年、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために取られた外出制限や書店休業等の措置により、スペインの出版業界は逆風にさらされた。しかし、それを受け新たな目標を設定し、社会的・産業的な改革を強化する方向にも働いた。

輸 出

感染症がもたらした数々の変化のうち、最も厳しい影響にさらされたのは輸出で、2020 年は前年比で 26%と大きく減少した。輸出金額は約 3 億 9175 万€にとどまり、2019 年の 5 億 2996 万€や 2018 年の 6 億€超の金額に遠く及ばない。

輸出先を地域別にみると、引き続きラテンアメリカが書籍部門の主要な市場であり、国別輸出額では、メキシコが今までどおりスペイン出版物の第一の購入国であり、それにフランス、アルゼンチンが続く。

版權販売額は、前年より約 200 万€増の大幅な成長を記録した。版權販売の最も多い言語は英語。

輸 入

2020 年の輸入は 1 億 4091 万€で、スペインの貿易収支の最終結果は 2 億 8653 万€の黒字となった。

国内市場

国内市場の売上は 0.8%増となり、パンデミックの間も、書籍の購買行動と読書の習慣は失われず、生活に密着した産業であることが表れている。年間売上高は、過去には数年にわたる深刻な危機も経験したが、直近 7 年間は持続的な成長を維持している。

出版タイトル数では、パンデミック対策の外出制限の影響を受け、紙媒体を中心(-16.5%)に総数で 9.4%減少したが、電子書籍として出版されたタイトル数は 10.6%増となった。

売上高はフィクションのジャンルのほぼすべてで増加し、特に児童書・青少年向け向け文学は 17.6%の成長を記録。一般向けフィクションも 2019 年より約 2.1%増加。増加を記録した主なジャンルは、小説、詩、演劇作品。

ノンフィクションのジャンルは、大衆向け一般書、実用書、宗教書が前年比増、科学技術と大学専門書、社会科学や人文科学、法律や経済学は 2019 年比で減少を記録するなど、ばらつきのある結果となった。

電子書籍の売上高は、2019 年比で 5.9%増加した。この金額の出版業界の総売上高の中で占める割合は引き続き約 5%のボリューム。出版されたタイトル数は新たに 2 万 3891 タイトル増えて、10.6%の増加となった。電子書籍のタイトル数は増加を続けており、18 万 6695 タイトルとなった。

電子書籍の売上高をジャンル別にみると、ノンフィクション、特に法律・経済関連の書籍が売上高の 60%を占めており、成長率は 21.6%の増加。児童書・青少年向け書籍も売り上げを 15%伸ばした。逆に、電子書籍として出版された一般向け小説の売上高は 7.5%減少し、紙媒体の書籍の売上とは対照的になっている。



書籍の国内販売

1989年以来毎年、スペイン出版書籍連盟はスペインの書籍の国内出版・販売に関する調査を行っている。第32回調査ではスペインの民間出版社および関連企業の2020年の出版・売上高データを基にして、スペイン出版市場の現状や主要指標の推移・傾向を示すよう努めた。下記にその代表的な指標を示す。

年	2019	2020	2019/2018 %	2020/2019 %
民間出版社・関連企業数	722	730	-0.3	1.1
雇用（直接雇用）	12,754	12,709	0.3	-0.4
出版されたタイトル数（総数）	82,344	74,589	8.1	-9.4
紙媒体	60,737	50,698	6.6	-16.5
電子媒体	21,607	23,891	12.3	10.6
発行部数（単位：千）	229,515	181,292	7.1	-21.0
平均発行部数（部数/1タイトル）	3,779	3,576	0.4	-5.4
既刊タイトル（絶版を除く）	711,687	737,479	5.1	3.6
国内売上高（販売希望価格）（単位：百万€）	2,420.64	2,439.93	2.4	0.8
紙媒体売上高（単位：百万€）	2,295.08	2,304.94	2.2	0.4
電子媒体売上高（単位：百万€）	119.13	126.19	0.1	5.9
売上部数（単位：千）	162,219	164,450	0.8	1.4

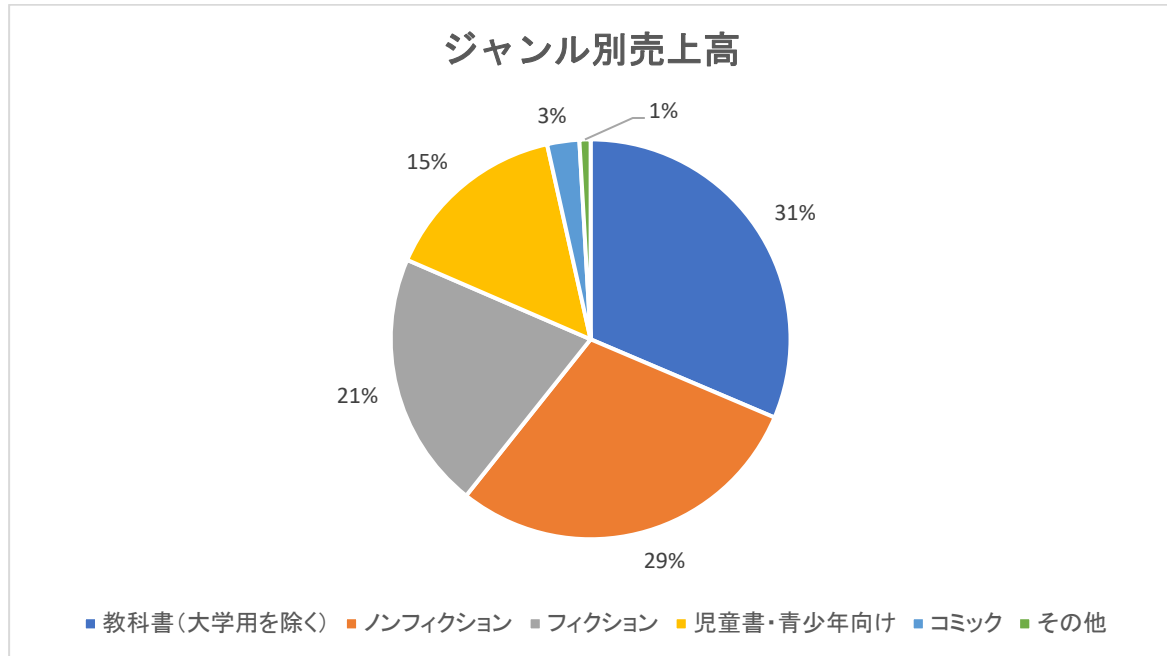
2020年、出版業界が受けた様々な影響（2019年比）

- 出版社及び関連企業数は微増（+8社、1.1%）。一方で雇用数は45件の減少となったが割合としては-0.4%でほぼ安定している。
- 出版されたタイトル数は7万4589で前年比約9.4%の減少。紙媒体の減少が16.5%であったのに対し、電子媒体では10.6%の増加を記録した。しかしながら、2020年の段階では紙媒体で5万638タイトルが発行されたのに対し、電子媒体で発行されたタイトル数は2万3891に留まり、発行総数の中でははるかに少ない。
- 発行部数は約21.0%減少して1億8129万2000部。平均発行部数も約5.4%減（3576部）。絶版を除いた既刊タイトル数は3年連続して増え続けており、約3.6%の増加を記録した。
- 国内売上高は電子媒体（5.9%増）の売上に支えられ、紙媒体もほぼ同額を売り上げたので、前年とほぼ同じ金額となった（0.8%増）。売上部数も1.4%の微増を記録している。
- 発行総数のうち国内で販売される部数の割合は約90.7%（2019年：70.7%）。国内で販売されなかった分は輸出され海外市場で販売されるか返品となる。
- 出版業界全体の売上は24億3993万€（>2019年：24億2,064万€）。2013年以来継続して増加している。一冊当りの平均希望小売価格は14.84€で僅かに値下がりした（参考：2000円未満）。



ジャンル別売上高:

ジャンル別総売上高の結果は次の通り:



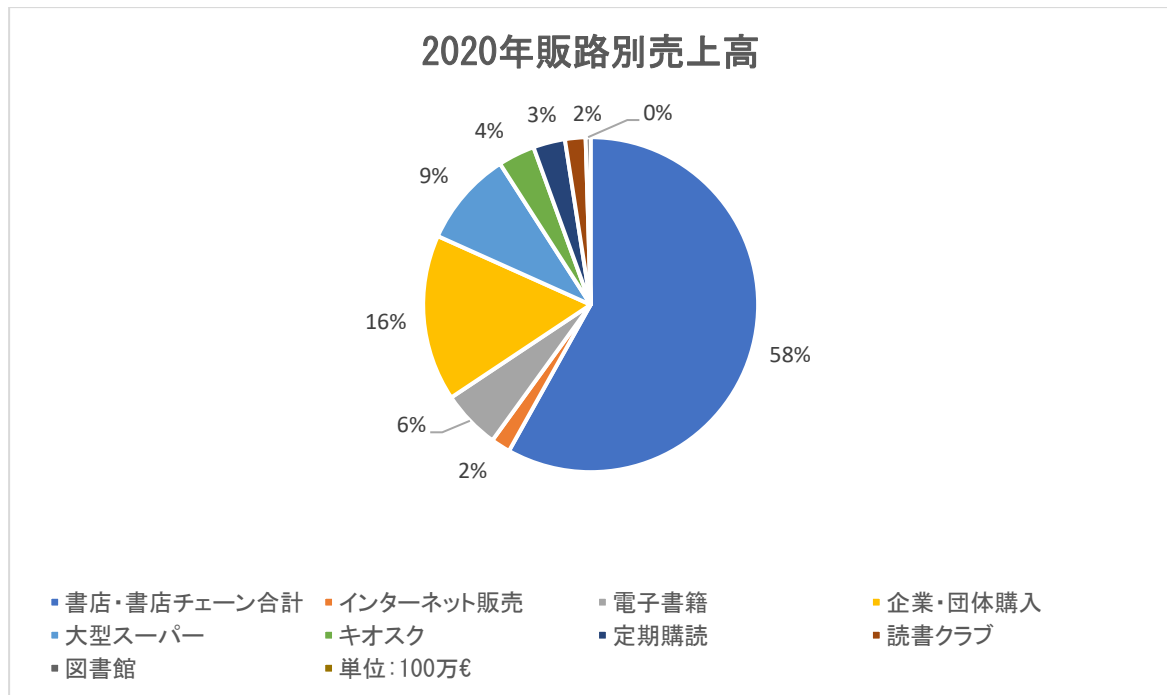
ジャンル	売上高 %
教科書(大学用を除く)	31,4
ノンフィクション	29,3
フィクション	20,8
児童書・青少年向け	15,0
コミック	2,6
その他	0,9

※ 教科書とノンフィクション作品で売上高の半分以上を占める。

ジャンル	売上高 %
教科書(大学用を除く)	31.4
ノンフィクション	29.3
フィクション	20.8
児童書・青少年向け	15.0
コミック	2.6
その他	0.9



販路別売上高:



※ 書店と書店チェーンが書籍の主要販路。総売上高の半分を上回る。

前年比増減率

単位: 100 万€

	2019	2020	増減率
書店・書店チェーン合計	1294.59	1292.53	-0.2%
書店	843.59	838.94	-0.6%
書店チェーン	451.00	453.59	0.6%
インターネット販売	26.39	41.6	57.6%
電子書籍	119.13	126.19	5.9%
企業・団体購入	360.47	357.34	-0.9%
大型スーパー	198.89	204.47	2.8%
キオスク	79.78	79.1	-0.9%
定期購読	67.95	68.49	0.8%
読書クラブ	45.80	44.16	-3.6%
図書館	11.30	10.59	-6.3%

- 2020年、インターネット販売は前年比約57.6%という大きな伸びをみせた。
- 電子書籍の販売も5.9%の増加。
- キオスクでの販売は減少傾向が続いている。
- 定期購読はわずかながらも増加傾向をみせた。
- 購入金額の安定していた読書クラブへの売上は減少に転じた。
- 図書館への販売が最も減額が大きかった販路であった。



文庫版(ペーパーバック)の売り上げ

	2019	2020	増減率
売上高 (100万€)	9.47	100.82	6.5%
販売冊数 (100万冊)	12.72	13.48	6.0%
平均価格/冊	7.44 €	7.48 €	0.5%
出版タイトル数	4766	4312	-10.5%

- 文庫版(ペーパーバック)の売上高は昨年に引き続き増加を続けている。
- 販売冊数も増加しているが、一冊当りの価格も4セント値上がり。
- この判型で出版されたタイトル数は前年比で減少した。

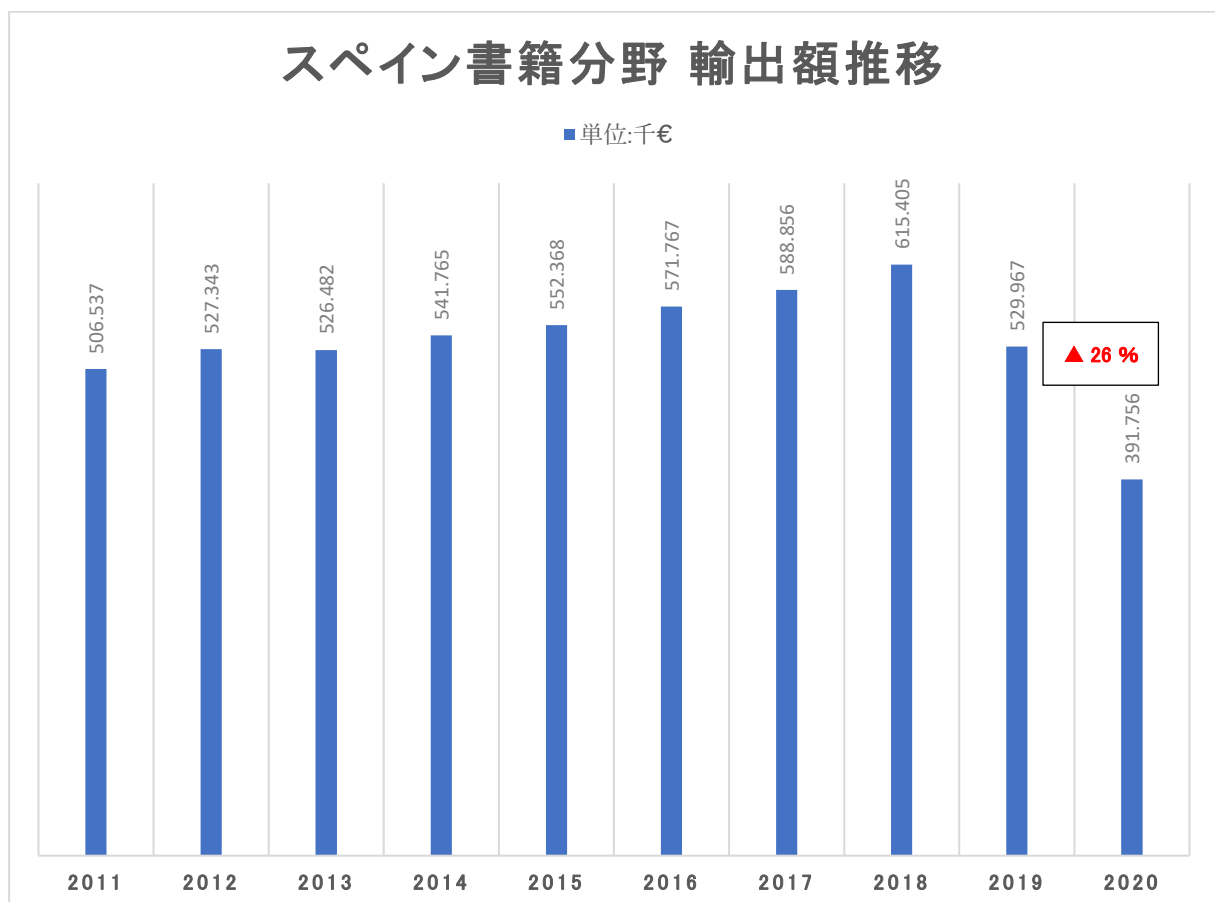


スペイン書籍の貿易

スペイン書籍委員会連合 (Asociación de las Cámaras del Libro de España)が実施した第29回書籍貿易調査によると、海外市場におけるスペイン語文化のプレゼンスにおいて、書籍一般、また、特にその出版社の果たす役割の重要性は明らかである。スペイン経済における出版業は、最も国際化が進んでいるセクターのひとつであり、その集約度と長年にわたる功績の大きさは皆の認めるところではあるが、スペイン国内での注目度は低い。

2020年は、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックを受けて、世界中の貿易がほぼ完全に麻痺した状態が3か月も続く異常な年であった。この影響は2019年の分析でも表れていた貿易の停滞傾向を深めることとなった。2020年の終わりから2021年の初めにかけて非常にゆっくりとしたペースながらも回復プロセスに入ったものの、輸出、輸入ともに減少傾向が長引いている。

輸出額推移



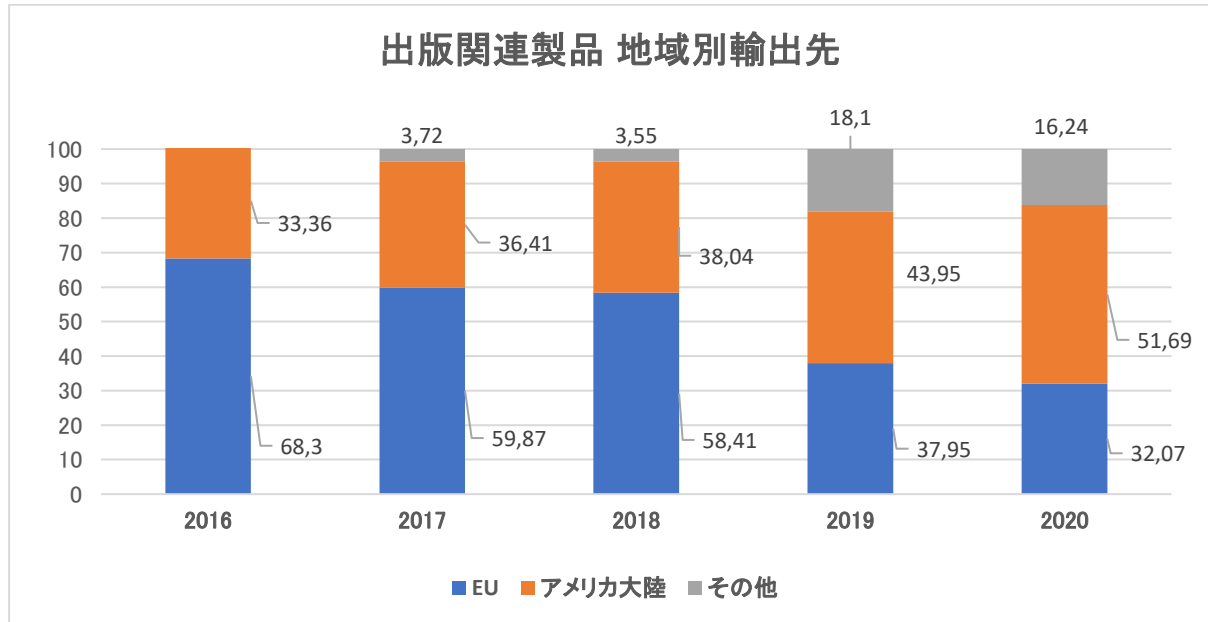
出典: FEDECALI (スペイン書籍委員会連合会カタルーニャ州、バスク州、マドリッド州部会)

※2020年の輸出額は3億9175万6000€で、2019年比で26%減少。

- 輸入が増えた2019年と違い、2020年は輸入も16.24%減少したため、貿易収支の最終結果は2億8653万€の黒字となった。

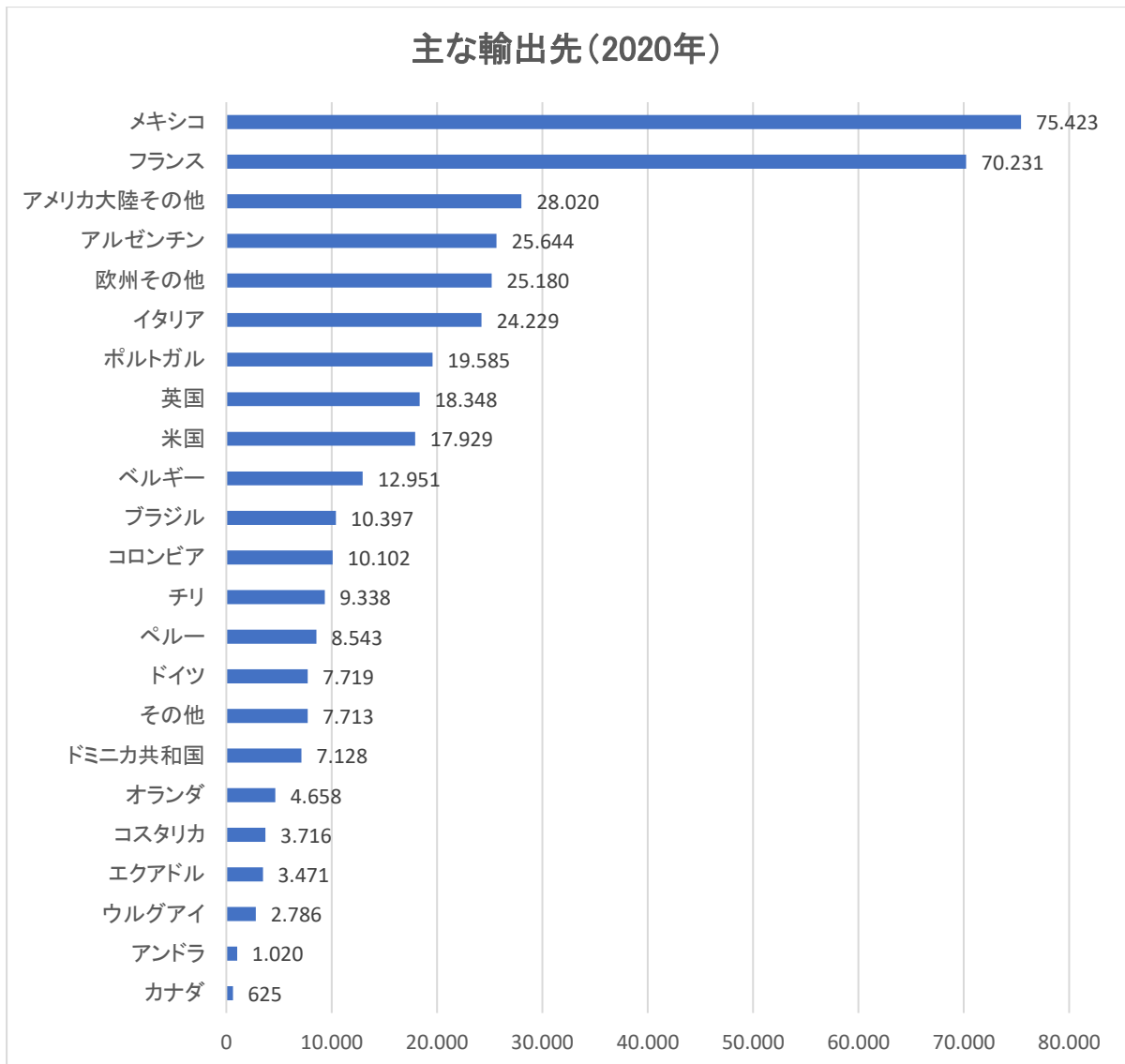


地域別輸出先推移



出典：FEDECALI (スペイン書籍委員会連合会カタルーニャ州、バスク州、マドリッド州部会)

- 上図のとおり、スペインにとっての最大の出版関連製品の海外市場はアメリカ大陸である。
- EU市場が海外市場第2位として重要であることに変わりはない。最も輸出されているのはグラフィック本で、それに書籍等の出版物が続く。出版物の輸出は増加している。

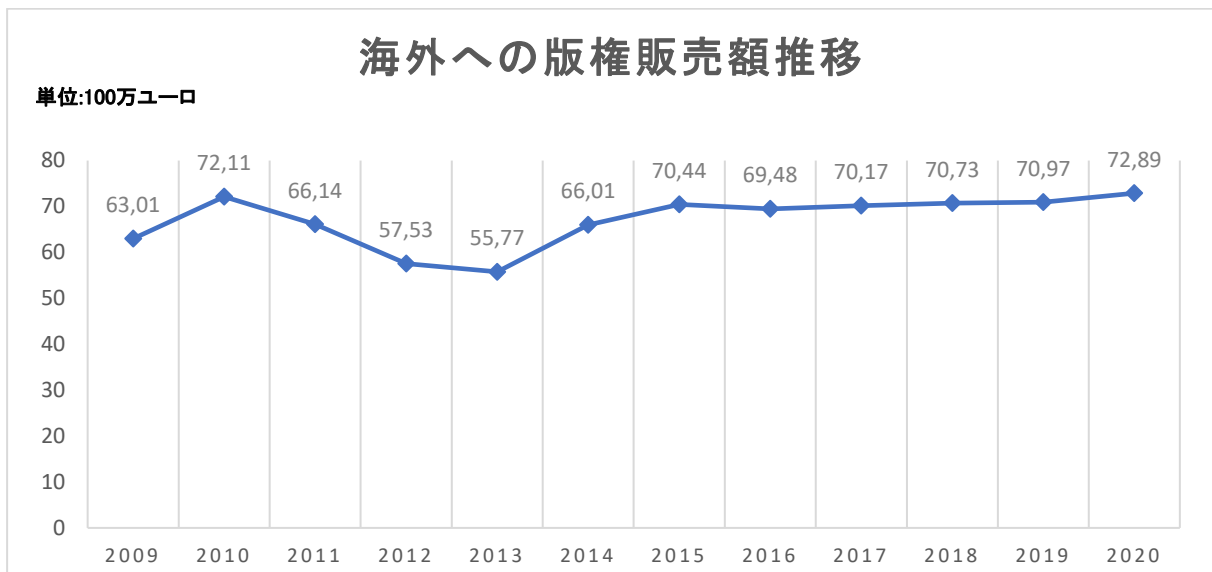


出典: FEDECALI (スペイン書籍委員会連合会カタルーニャ州、バスク州、マドリッド州部会)

※外国人向けスペイン語学習書の輸出は、販売促進のプロモーション活動が実り好調。

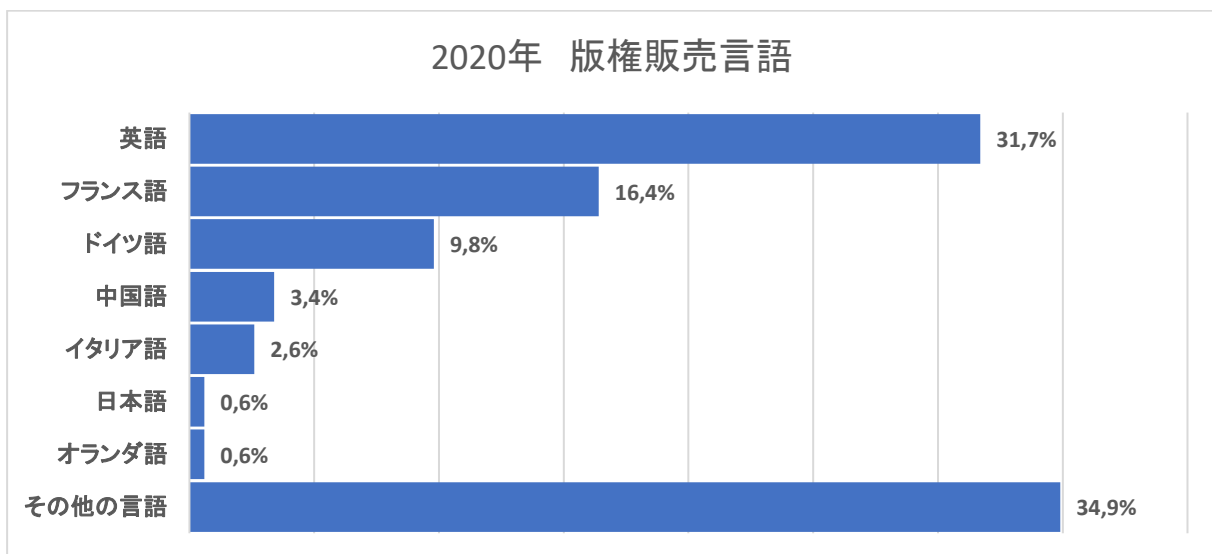


著作権販売



出典: FEDECALI (スペイン書籍委員会連合会カタルーニャ州、バスク州、マドリッド州部会)

※著作権販売額は、前年より約200万€増の大幅な成長を記録した。



出典: FEDECALI (スペイン書籍委員会連合会カタルーニャ州、バスク州、マドリッド州部会)

著作権販売の最も多い言語は英語。平均販売価格からすると増加率は小さくみえるが、著作権販売された書籍数が増加した結果による。



輸入動向

- 輸入は、ヨーロッパと中国からが主である。ヨーロッパからは書籍・雑誌を中心とした輸入で、中国からの輸入は発注した印刷製品の輸入である。こちらには減速がみられる。
- その他、ヨーロッパ大陸、アメリカ大陸以外の地域からの輸入は数量的には少ないが増加傾向にあり、16.24%に達した。

参考： スペイン書籍委員会連合会カタルーニャ州、バスク州、マドリッド州部会
貿易統計(スペイン語) <https://fedecali.es/comercio-exterior/#cel2020>



読書・出版物購入に関する行動様式(2021年)

「読書・出版物購入に関する行動様式」の調査の主な目的は、スペイン人の現時点における読書行動について調査し、ポリシーや計画を策定し、評価するうえで有益な情報を得ることである。そのために次のような情報を収集して

- 読者層：未成年者については10歳未満の児童と10歳から18歳までの学生に分け、家庭と学校における読書について調査。
- 頻度とジャンル：読書にあてる時間、読まれているジャンルや形態の移り変わりを、書籍、コミック、新聞、雑誌、ネットサイト別に理解するための情報。
- 読書習慣：読書にあてる時間に加え、最近読んだ本、普段の読書習慣(言語、場所、デバイス)、読書をしない理由など、読書習慣の変遷において重要な情報。
- 購入様式：教科書(学習目的の書籍)とそれ以外に分け、電子書籍の利用状況、購入場所、最近購入した書籍に着目した情報。
- 図書館利用：過去1年間の図書館利用、図書館の種類、頻度などを知るための情報。
- 意識調査：読書に対する社会的価値や読書の未来像を探るための情報。
- インターネットの利用：読書の行動様式を分析するために欠かせない、他の時間の使い方として不可分なインターネット使用状況。

また、社会・人口統計学の情報(性別、年齢、家のタイプ、配偶者の有無、教育レベル、雇用形態、職業、社会的階層)や、自宅のネット環境(接続アクセス、パソコンやタブレット端末の数)や書籍数についても着目した。

2021年の「スペインにおける読書・出版物購入に関する行動様式の調査報告の中からポイントを抜粋する。

- 本を読むと回答したスペイン国民は67.9%、そのうち64.4%が自由時間に趣味として読書をしており(近年の増加傾向は継続)、21.2%が仕事や勉強のために本を読む(減少傾向)。平均冊数は年9.9冊。



- 頻繁に読書をする人の割合は2021年も前年とほぼ変わらない。「一週間のうちで必ず読書をする」人の割合は52.7%、「たまにしか読まない」は11.7%。「本をまったく読まない」人が残念ながら35.6%いるが、減少傾向にある。
- 余暇に読書をする人の割合は、どの年齢層においても女性の方が男性より明らかに高い(65歳以上を除く)。この差が最も大きく出た年齢層は55歳から64歳だった。
- 教育レベルが高いほど、趣味で読書をする比率が高い。最終学歴が高いほどこの率がより高くなる様子が観察され、大学課程を卒業している人の85.9%が余暇に本を読んでいる。
- 平均以上に趣味で読書をする人の比率が高い自治州は、マドリード州、バスク州、ナバラ州、カタルーニャ州、リオハ州、アラゴン州。逆に平均を下回る自治州は、アストゥリアス州、バレンシア州、バレアレス諸島、カンタブリア州、カスティージャ・イ・レオン州、ガリシア州、ムルシア州、カスティージャ・ラ・マンチャ州、アンダルシア州、カナリアス諸島、エクストレマドゥーラ州。
- 読書をしない理由として最も多かった回答が「時間がない」で、「たまに読書をする」「まったく読書をしない」と回答している人のほぼ半数が習慣的に読書をしない理由としてあげている。「読書は好きではない」「他の趣味に時間を使いたい」と回答している人の割合は4人に1人。
- 「最近読んだ本」の設問には71.0%が小説や短編小説(文芸作品)と回答している。書籍形態別ではペーパーバックが52.6%、28.8%が文庫版、18.1%が電子媒体だった。言語別ではスペイン語が90%、残りの10%がその他の言語で、主にカタルーニャ語と英語。
- 14歳以上で3か月に1回以上電子書籍を読むと回答している人にほぼ増減はなく、2021年では29.4%であった。
- 電子書籍を読むためのデバイスとしては専用の電子書籍リーダーが12.3%、タブレット端末が10.7%。昨年増加をみせたパソコンの利用は減少した。
- 電子書籍を入手する方法として最も多かったのは無料ダウンロード(60.3%)。しかしながら、有料の電子書籍を購入する割合も2021年は43.0%となっており、5年前より13.5ポイント増えた。
- まだまだ数字的に少ないとはいえ、オーディオブックの利用者が増えてきている(3か月に1度利用する人:5.2%、半年に1度利用する人:2.5%)。オーディオブックの利用者は2018年の2.4%から2021年の5.2%と、4年でほぼ2倍になった。



- 14歳以上のスペイン人の63.1%が直近一年間のあいだに何らかの本(学習用、それ以外)を購入しており、ここ5年間この割合に大きな変化はみられない。
- 学習用書籍以外の本を購入する人の割合は引き続き増加傾向にある(52.3%)。
- 書籍購入者数は2020年比で減少したが、平均購入冊数は年間で約4.1%増えて2021年は10.1冊。
- 本(教科書を除く)を購入する場所としては従来通り書店が中心。次いで、インターネット購入、書店チェーンとつづき、購入経路は増えている。
- 昨年減少した図書館利用者数は2021年わずかに回復した。利用者満足度は10点満点の8.2点で高い評価をキープしている。
- 6歳以下の子供のいる家庭で読み聞かせをしている家庭は75.9%に増加した。読み聞かせに使う時間も昨年より平均20分以上増えた。一方で教科書以外の本を読む6歳から9歳の児童の割合は83.7%に減少した。読書にかかる時間はほぼ同じ。年齢があがるにつれ自由に使える時間に読書をする人の割合は著しく減少する。